

上田市教育委員会 9 月定例会会議録

1 日 時

平成 30 年 9 月 27 日（木） 午後 3 時 00 分から午後 3 時 26 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯村 秀則
教育長職務代理者	北沢 秀雄
委 員	平田 利江子
委 員	横関 妙子
委 員	綿谷 憲一

○ 説 明 員

中村教育次長、池田教育参事、石井教育総務課長、高木学校教育課長、小林生涯学習・文化財課長、唐澤人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、宮越武石地域教育事務所長、水野第一学校給食センター所長、竜野中央公民館長、酒井塩田公民館長、清水上田図書館長、

1 あいさつ

本年度の上半期が終わろうとしている。今年度は自然災害が大変多く、地震、台風等、日本列島は各地で被害が出ている。先日 9 月 5 日の台風 21 号は、上田市でも被害があり、教育委員会が所轄する豊殿小学校、第五中学校でも被害が出た。文化財関係でも、上田城跡公園の土手が崩れたり、樹木が倒れて道が塞がれ、施設の活用に支障をきたしたという報告がある。しかしながら、教育委員会の各部署での早い対応により復旧することができた。また、週末には台風 24 号がこちらに来る心配がある。引き続き各部署での対応をお願いしたい。

2 協議事項

(1) 少年補導委員会の組織見直しについて（生涯学習・文化財課）

○ 資料 1 により小林生涯学習・文化財課長説明（要旨）

少年補導委員会の組織見直しについて、5 月 16 日の協議会で説明をしている。その後、地区自治会連合会や補導委員にも協議がある程度済んだことで今回の協議をお願いしたい。

1. 経過・趣旨については、少子化・非行少年の数の減少、インターネットを介した犯罪・被害の増加など社会環境が大きく変化する中で、事業内容と組織体制の見直しを平成 29 年度

から約2か年にわたり検討を進めてきた。これについては、委員の任期は2年であり、平成31年4月からの委員改選に併せて、新しい組織体制の活動を推進していきたいと考えており、ご協議をお願いしたい。

2. 組織見直しの主な変更点は、(1)選出区分の変更は、これまで自治会から各1名選出いただいていた補導委員を、地区自治会連合会単位で複数名とする方法に変更することとなった。平成30年5月、地区自治会連合会役員会において趣旨説明し、2か月の協議期間を経て、7月に変更事項についての了承をいただいている。

(2)補導委員数の変更案は、現在の世帯数や見回りが必要な店舗数などを考慮した補導委員数の見直し案を事務局から示し、地区自治会連合会でご協議いただいた。各自治会内での慎重な協議を経て、最終的に地区自治会連合会の判断として、資料別紙1記載のとおり人数をご報告いただいた。これにより、自治会推薦の補導委員総数は現状の201名から136名に変更することとなった。

3. スケジュールについては、次期平成31年度の委員選出からお願いしたいということで、9月21日の自治会連役員会に変更後の補導委員数の報告、今後の推薦方法の説明を行ってきた。また、12月1日の自治会推薦依頼を補導委員だけではなく、全ての自治会からの区分について推薦をお願いすることであるが、市から各種委員選出依頼とともに文書の通知をしていきたいと思っている。これに伴い、(2)規則・内規等の変更について、内規でいうところの250名以内の人数基準については、現在委員245名となっている。136名と学校の先生方ということで270名程になるので、この人数については規則の改正を3月までに完了して来年度に備えていきたいと考えている。

峯村教育長

少年非行の総数が減少、少子化から、少年補導委員会の組織を今までの人数を減らしていった方がいいと考え、また地区での役員の引き受け手が少なくなっていることも背景にある。補導委員総数201名から136名のご提案もあり、これについてご検討いただき、本日も了承いただければ変更の手続きを進めていくことになる。ご意見をお願いしたい。

北沢委員

以前にもあった内容だが、良い方向に進んでいると思う。201名から136名に変更となったことは、地域の実情に即していると思われる。ところで、補導委員の活動に対して予算措置はされているのか。

小林生涯学習・文化財課長

現在は、1回の活動に対して、1,350円を報酬としてお支払いしている。それにより、100万円程度の予算になるが、今年度から補導員の活動が少なくなった分、センターごとで青少年補導センターを中心に、直接街中の方へ店舗などを見回る活動を各地区の委員に出いただき、4回ほど試験的に行っている。店舗の数は街中と地域では違いがあるため、例えばアリオやイオンモールを各地区の皆さんに回っていただくなどして、今後は、補導委員を新たにお願ひし街中を中心に回っていただけるよう検討している。

北沢委員

さらに改善していただけるようお願いしたい。

綿谷委員

犯罪等も以前より多様化しているが、補導委員に見回っていただき犯罪を減らすことは良いと思う。ただ、インターネットを介しての犯罪増加については仕方ないと思うが、補導委員以外の防止策を考えていくことも必要だと思う。

小林生涯学習・文化財課長

街中やインターネットカフェ、スマートフォンを使った犯罪が増加している。こちらの啓発活動にも力を入れていきたいと考え、今年度も青少年担当部署の研修会等を随時行っていきたいと考えている。

綿谷委員

家庭にも呼びかけていくことも大事だと思う。

平田委員

今の社会現象に合う形に進めていただきありがたいと思う。変更案に関しても各自治会内で検討された内容を尊重していただいている。補導委員の人数は市街地と周辺部、また地区の広さなどによって決まってくると思うが、今回見直しがない地区は補導委員活動に差があるのか、またどのような活動をしているのか、分かる範囲で教えてほしい。

小林生涯学習・文化財課長

北部、西部、中央地区については店舗が多い。補導委員の活動には、見回りをする活動と、環境チェックとして店舗を回り、店長の話聞くなどの活動がある。補導委員活動には環境チェックの数に大きな違いがある。北部地区の自治会について、当初の案では7人から8人を出したが見回りきれないため、自治会の選出区分を各自治会からではなく連合会からとした。その様子を見て1回目の変更については、自治会からの意見を尊重して人数を決めることになった。

横関委員

少年補導委員の活動について、保護者はその内容を知らないことがあると思う。現状、どのような非行があるのか、またインターネットを介した非行等の情報をできるだけ発信してほしい。補導委員の年齢はどのくらいなのか。

小林生涯学習・文化財課長

補導委員の年齢は、総じて高齢の方が多い。なるべく複数年を行っていただけるよう自治会にはお願いをしている。補導委員が一気に変わってしまうと活動はできないので、なるべく半分くらいは残っていただくようお願いをしてきたが、自治会推薦から連合会推薦になると自治

会の方では順番になってしまい、継続することは難しい話になってしまう。今回は初めての試みなので、なるべく今の委員が残れるようお願いをし、新しい委員を指導しながら進めていきたいと思っている。また、今後大きく入れ変わってしまった場合、センター補導をベテランの補導委員に直接お願いをして継続した補導活動をしていきたいと考えている。

横関委員

年齢の若い人を起用するのも良いと思うが、検討していただきたい。

峯村教育長

他にはよろしいか。それでは委員の皆さんからこの案についてご承認いただいた。今後のスケジュールに沿って進めていただきたい。

○全委員 了承

3 報告事項

(1) 「文化財 de 文化祭」実施報告について（生涯学習・文化財課）

○資料2により小林生涯学習・文化財課長説明（要旨）

今年で4年目となる事業「文化財 de 文化祭」は、上田市にある数多くの貴重な宝をより多くの方々に知っていただくための活用モデルとして提案している。今回、9月8日（土）に常楽寺にて、茅葺き屋根葺替工事の見学会と尺八ピアノデュオによるコンサートを100名の方にご参加いただいた。また、次回の11月ぐらいに宣教師館での開催を予定している。

峯村教育長

ただ今の報告に対しての意見、質問等お願いしたい。

○質疑

横関委員

高校3年生になる息子と参加させていただいた。茅葺き屋根の葺替えの道具や葺替えの説明を聞き、目の前にある茅葺き屋根を見て息子は、歴史あるものは後世に伝えていかなくてはならないと感動していた。しかし、10代の若い子たちがいなかったことが残念であり、後世に継承していくことを目的にしているのであれば、若い子たちに知らせていくことが課題であると思う。もっと発信の仕方を考えてほしい。

小林生涯学習・文化財課長

広報の掲載の仕方をもう少し積極的にやらなければいけないと思っている。若い人たちへの声のかけ方も研究して進めていきたいと考えている。

横関委員

学校等にも声をかけていただくことも良いと思う。

○全委員 了承

(2) こころのプロジェクト「夢の教室」について（スポーツ推進課）

○資料3により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

「夢の教室」とは、現役選手、OG・OB選手を「夢先生」として小学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を開催する。「夢を持つことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝える授業である。この事業は平成25年度から実施しており、今年度も6月、11月にかけて実施していき、人格形成において重要な時期である小学生児童、特に目的と手段を合わせて考えることができる小学校5年生を対象としている。また、特別支援学級の子どもたちの参加も可能としている。実施単位は、クラス単位として、夢先生と子どもたち一人ひとりができる限り触れ合う機会をつくる。時間は授業2コマ90分間を利用して、前半は「ゲームの時間」として体育館で運動を行い、後半は「トークの時間」で夢先生がこれまでの体験を話し、子どもたちとともに夢について語り合う授業の構成となっている。日程については資料3に記載されているとおり、10月11日から11月26日まで9校がそれぞれのクラス数で開催され、授業見学ができるのでぜひ見学にお越しいただけたらと考えている。

峯村教育長

今後、11月26日まで実施を予定している。このことについてご意見等お願いしたい。

○全委員 了承

(3) 長野県日中友好都市中学生卓球交流大会実施報告について（スポーツ推進課）

○資料4により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

日中友好都市中学生卓球交流大会について、その結果等々のご報告を申し上げたい。本大会は日中平和友好条約締結40周年を記念して、長野県と中国の河北省が友好提携を結び35周年となり、周年事業として5年ごとに開催している。実行委員会が主催をして、県内の中国友好都市を持つ長野県、長野市、松本市、須坂市、飯山市、上田市の計6自治体が参加して中学生同士の交流卓球大会を開催するものである。当初の会場はホワイトリンクを予定していたが、予定を変更して長野吉田高校へ会場を移して開催された。日程は8月16日に来日され、上田市と友好を結んでいる中国の寧波市については、21日に帰国されている。上田市と寧波市の合同チームについてはそれぞれ4人ずつAチーム、Bチームの2チームで参加をしている。上田市のAチームが第2位、Bチームが第3位の結果となった。また、寧波市のチームの男性と女性の監督がお見えになり、特に女性の監督は中国の全国大会に出場するような実力のある方である。この期間中、市内の中学生卓球部との合同練習を行ったときに教えていただき、子どもたちも喜んでいた。

○全委員 了承

峯村教育長

報告事項（４）から（９）について意見質問をお願いしたい。

○質疑

横関委員

資料５の学校教育関係の寄付について、下村圭三さんから金１０万円とあるが、どのように使うのか。

高木学校教育課長

これについては、基金の積み立てをさせていただいている。

峯村教育長

基金ということは今のところ使い道がはっきりしていないということによろしいか。

○全委員 了承

（４）寄付の状況（学校教育課）

○資料５（説明なし）

○全委員 了承

（５）行事共催等申請状況について（学校教育課、生涯学習・文化財課、スポーツ推進課）

○資料６-１ ６-２ ６-３（説明なし）

○全委員 了承

（６）スポーツ関係市長表敬訪問について（スポーツ推進課）

○資料７（説明なし）

峯村教育長

「４ その他」に入るが、何かあれば質問、意見をお願いしたい。

横関委員

城南公民館の「子どもチャレンジ広場」という行事が８月１７日から１９日まで開催され、小学生１５名が参加したという記事があるが、「わいわい塾」と似たようなイベントなのか。次回の定例会にその報告を教えてください。

○全委員 了承

(7) 公民館だより (各公民館)

○資料8 (説明なし)

(8) 信濃国分寺資料館秋季企画展「祈りの考古学～上田盆地の遺跡から～」 (市立博物館)

○資料9 (説明なし)

(9) 図書館講演会「社会のことば、文学のことば、ラジオのことば」 (上田資料館)

○資料10 (説明なし)

○全委員 了承

4 その他

○全委員 了承

閉会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
